

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 6 (2024) 年 12 月号

編 集 武田 隆久
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
一般社団法人 日本病院会 事業部教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <https://jha-e.jp/>
受付時間 10:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月 1 日

診療情報管理士としての実力を付けよう

末永 裕之
日本診療情報管理学会 理事長
小牧市民病院 名誉院長

8月22、23日と、第50回日本診療情報管理学会学術大会が福岡国際会議場で盛大に開催されました。福岡で予定されていた第46回学術大会が新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより中止となっていたこともあり、今回の学会は吉住学会長のもとオール九州で企画され、力が入った充実した学術大会になりました。

COVID-19 パンデミック前のように対面のみでの学会であったために心配しましたが、1600人以上の参加者があり、開会式から閉会式まで多くの皆さんが熱心に各セッションに参加していただき感謝しています。懇親会も含め、私も初対面の方とお話ができ、出席者の方たちが親しくなって話し合っている様子も多くみられて学術大会の良さが再確認できました。参加された方には良い学びの場、交流の場となったものと思われまます。

診療情報管理士の役割はこの50年の間にコーディング、カルテ管理から大幅に拡大してきており、現在では医療の質、経営の質を評価するためのデータ分析をする重要な役割を果たしている人も増えてきています。

最近、日本診療情報管理学会の中では診療情報管理士の本来業務、独占業務となるべき業務とは何か、何を重視していかなければならないかを議論していますが、皆様には学会からの今後の発信に注意していただければ幸いです。

診療情報管理士として認定された後でも、学会が主催する研修会、学術大会等に参加して新しい情報を身に付け、現場で生かしていただくことが必要です。是非とも多くの方に日本診療情報管理学会に入会していただき、学会が提供する数々の研修会にも参加して最新の知見を吸収してください。そして各施設で重要な情報を発信していただきたいと願っています。

この1~2年の間に生成AIに関するニュースが新聞紙上などをにぎわしています。すでにチャットGPTを使用している方もいると思いますが、生成AIの進歩はあらゆる分野で使用されてきており、今後生成AIの進歩に応じて働き方にも変化をもたらすものと思われまます。健康・医療情報管理においてもAIがどのように利用されていくのか、診療情報管理士はこの面でも注意していく必要があります。

診療情報管理を学ぶ皆さんには今後さらに複雑になってくる「情報」に関して情報源にも注意を払い、自身で「情報」を判断できるようになっていただきたいと思われまます。